

日本科学未来館見学

夏休み初日の那珂核融合研究所研修に引き続き、SSHクラス1～2学年33名が、日本科学未来館を訪問しました。

まずは科学コミュニケーターの方によるトークプログラムから開始。

「宇宙に日帰り旅行をするとしたら何を持って行きますか？」

「宇宙に三ヶ月旅行するとしたら何を持って行きますか？」

「子孫への世代交代も含めて宇宙へ千年の旅に出るとしたら何が必要ですか？」

個人的な楽しみから生きる上での科学技術の話へと広がり、そして生態系のサイクルへ考えが至ったところで、地球自身が「宇宙船地球号」なのであるというお話を受けて、自分たちの生活が地球のかけがえのない生命活動の上に成り立っていることを改めて感じました。

初めて訪れた生徒も多く、現在の科学技術に刺激を受けたり、地球環境の未来について考えたり宇宙を体感したりと、科学分野に強いSSHの生徒でも新たな知見を大いに楽しむ訪問となりました。



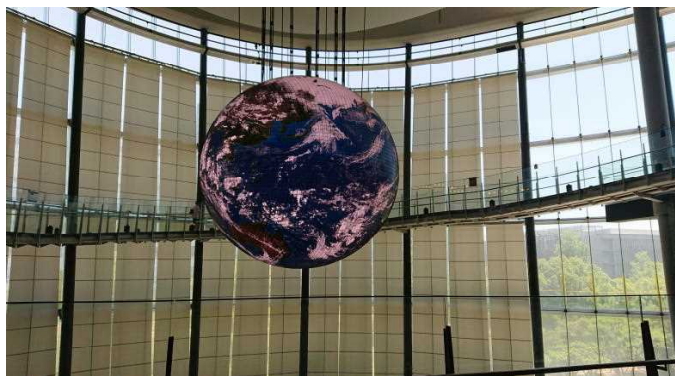
トークプログラム「どうする？宇宙船での長い旅」



ITER講演会や那珂核融合研究所で研修した核融合技術についての展示



現在の技術について学ぶ



日本科学未来館のシンボル「ジオ・コスモス」